

交通の安全確保は十分か

住民要望にも配慮する

問 山田高校下の国道に信号機設置を町を通して公安委員会に要望して3年近くなる。実現のめどは。

川守田建設課長 公安委員会には新設要望を行っている。設置に向け引き続き、要望を継続していく。

問 田の浜高台道路に接続する既存の道路には、激しい段差や危険な箇所があるが認識しているか。

建設課長 佐々秀建築前交差点部の段差について

は、住民から要望があり、対応することで進めている。

問 現状を見ると下水道のふたが陥没したり、隆起している箇所が見受けられ、非常に危険であるが対応は。

建設課長 現状については認識しており、上下水道課と連携しながら対応する。

問 ドライバーのモラルの問題ではあるが、田の浜高台道路では沿線住民が車の速度に恐怖を感じている。町として標識や

横断歩道などの設置はできないか。

建設課長 小学校の通学路にもなっていることから、関係機関と協議し標識等を設置した。ドライバーのモラルの向上を図る対策は考えたい。

子育て支援にインパクトを

引き続き研究していく

問 以前は大変まれな事として、100歳長寿祝い金が100万円支給されていた。インパクトの強い施策を持って町内の

子育て世代を励ましたり、町外の若い世代にアピールして、移住や定住を促しては。

佐藤町長 現在のところ、他市町村と違うインパクトのある施策はないが、全国の自治体の中には出産祝い金を支給しているところもあるので、効果的な施策を研究していく。

三鉄移管金の用途は

新駅設置には利用できない

問 30億円の移管協力が4市町に渡された。内訳は。

町長 初期投資に7億8千万円、運賃激変緩和に1億2千万円、設備更新に3億4千万円、運営支援に16億18千万円、災害時等留保財源等に1億0千万円～5億0千万円となっている。

町長 マイレール意識の醸成は鉄道運営持続のためには必要不可欠だと考えている。

問 開通後15年程度で赤字が予想されている。赤字にならない努力は必要だが、住民の利便性向上をめどとし、新駅を設置すれば利用者も増え、住民の足と認識してくれて

問 町の長期計画では柳沢北浜地区の土地地区画整理、新たな災害公営団地により周辺地区の人口増加を見込んでいる。この地区周辺に新駅があってもいいのでは。

甲斐谷復興企画課長 約2億円の費用がかかるので、移管前の設置は厳しい。

約2億円の費用がかかるので、移管前の設置は厳しい。



議員 山崎泰昌 (政和会)



信号機設置で安心安全な交通環境に